

**国の特別天然記念物となり
その後の石ブームを牽引**

今からおよそ1億年前、海底火山の噴火によって生成されたといわれる菊花石。その存在が公に知られるようになったのは、明治時代に入ってからでした。きっかけは、日本で初めての理学博士である伊藤圭介氏によつて編纂された「日本産物誌」。その中で「菊石」として紹介されたのがはじまりだといわれています。

そして昭和時代に入り、岐阜市の眼科医であった白木孝一氏が根尾の山を購入し、菊花石が採掘できることを発見。多くの文人に贈呈したことで、根尾谷の菊花石が少しずつ注目を集めるようになっていきました。根尾公民館の館長で、多数の菊花石を展示するさくら資料館の管理も務めている三本木隆さんは、「白木孝一氏こそ、根尾谷で採れる菊花石の美しさを世に知らしめた功労者の一人」と話します。

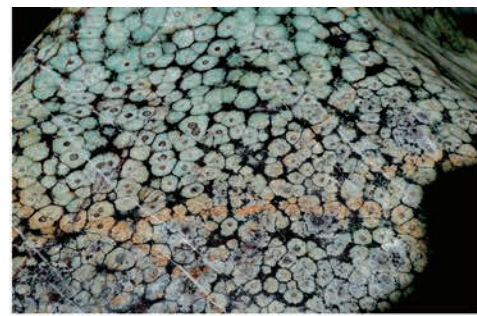
昭和16（1941）年には、白木山など菊花石の採れる約14万㎡の地域が「根尾谷の菊花石」として国の天然記念物に指定。昭和27（1952）年には、さらに国の特別天然記念物へと格上げされ、以後はこの地域での採取が禁止されました。そして昭和30年頃、門脇谷の河川工事の際に、指定地域外でも菊花石を採れることが発覚。翌年には赤倉山での採取許可が下り、その後起こった全国的な石ブームの主役となりました。

現在では大がかりな採掘こそ行われていないものの、個人が常識の範囲内で採取することは可能。根尾川のあたりに行けば、今でも自然のままの原石を見つづられます。

**多彩な形状や色合いで
鑑賞石の最高峰といわれる**

菊花石は、東京の奥多摩や群馬の下仁田、四国の仁淀川などのほか、韓国や中国でも産出しています。その中でも最上といわれているのが根尾谷の菊花石。形状や色合いの美しさから鑑賞石の最高峰とされ、全国に熱心なマニアやコレクターが多数存在します。

菊花石と名付けられた由来は、母岩の中に放射状の模様があり、これが菊の花に見えることから。根尾谷の菊花石は、その花の色が多彩で、か



根尾孔雀石の孔雀の模様。この模様は菊花石の花模様が組み合わさる孔雀菊花は息を呑むような美しさです



菊花石の世界

巻頭特集 根尾谷の自然が生み出した鑑賞石の最高峰

石の中に菊のような模様があることから、その名がついたという菊花石。とくに本巣市の根尾谷で産出されるものは、その突出した美しさから鑑賞石の最高峰といわれています。今号は多数の菊花石を展示する「さくら資料館」と、市内で唯一、菊花石を販売している「根尾谷一石庵」取材。美しい菊花石の世界を案内しましょう。



さまざまな色やかたちがある菊花石。原石をグラインダーで磨いて花の模様を浮かび上がらせたり、「たたき」といわれる工法で余分な部分を削り落としたりと、さまざまな加工を施すことで美しさを際立たせています

つ大きな花から小さな花まで豊富にあることが特徴です。

「大きな花は、直径が20cm以上あることもめずらしくありません」と三本木さん。「さらに赤倉山で数年間しか採れなかつた希少な石として、孔雀菊花という種類もあるんです」孔雀菊花とは、菊花石の花模様と孔雀の羽のような模様が合わさった世にもめずらしい石。鑑賞石の中でもとくに価値が高いとされています。「しかし、なぜこのような美しい石ができるのか？ その謎は、現代の科学をもつても解明されていないんです」

火山や石灰岩が関わっていることは判明しているものの、その成因にはさまざま説が唱えられていると話します。

いまだ人智を超えた存在であり続けている菊花石。そうした神秘性も、多くの人を惹きつけている理由の一つなのでしょう。

**菊花石の魅力の世界に発信して
地域を盛り上げていきたい**

かつては菊花石を取り扱う石店がいくつも存在した本巣市。しかし現在も営業を続けているのは、根尾板所にある「根尾谷一石庵」だけになりました。創業は昭和40年頃。一時は廃業していたものの、創業者の子息である石川隆直さんが「地元は何か恩返しをしたい」と、6年前より営業を再開しています。「菊花石を好きな人たちが集まっ



(上)「さくら資料館」の三本木隆さん。根尾谷淡墨ザクラでも多くの菊花石を見られます(下)「根尾谷一石庵」の石川隆直さん。菊花石について、詳しい話をたくさん聞かせてくれます

て、みんなで楽しめるような場所をつくりたかったです」と石川さん。4年ほど前から、菊花石の解説や川原での石拾いなどを行うイベント「探石会」を定期的に主催しており、これまでに44回の開催を数えます（現在は新型コロナウイルスの影響で休止中）。

さらに近年は、地元の病院とコラボして、健康と美容のためのマッサージ用カッサを菊花石で開発。菊花石でつくったペーパーウェイトと合わせ、本



「根尾谷一石庵」で開発した菊花石のカッサ。菊花石には、体の代謝を高める効果があるといわれています

巣市商工会を通して国内のみならず、アメリカや中国への販路を開拓していくとしています。

「SNSを使った発信がきっかけで、すでに昨年からはフランスにも出荷しています」と石川さん。「この店が続けられているのも、菊花石の愛好家や同業者の皆さん、そして地元の方々に応援していただいているおかげ。世界に菊花石の美しさを紹介することで、少しでも地域の活性化に貢献していきたい」と話してくれました。

地域の自然環境が生み出した宝物である菊花石。これからも多くのファンや愛好家を増やし続けていくでしょう。

一石庵の情報は各SNSからチェック!

Instagram: さくら資料館

Facebook: フェイスブック

根尾谷一石庵
本巣市根尾板所477-1
電話 090-6611-5374
休 無休
来店前には気軽に電話ください

さくら資料館
本巣市根尾板所1063 淡墨桜公園敷地内
電話 0581-38-2410
開館時間 9時~17時
開館期間 3月~5月、7月~8月の土曜・日曜
入館料 大人.....300円
小学生~高校生...100円